

## 井崎執行部に会派からの次年度の予算要望

9月28日、井崎執行部に対して、会派としての予算要望を提出しました。これは、議会内会派として、次年度、特に施策事業の予算配分を増やして、重点施策として取り組んでいただきたい項目を挙げ、要望するものです。  
公園整備をはじめ公共下水道や道路整備、タウンバスの整備等、90項目に渡り要望しました。



会派から執行部への予算要望風景

## 流山市議会がお手本？ 成田市議会視察団

平成19年8月6日、成田市議会の議会運営委員会の行政視察団が流山市議会を訪れました。流山市議会を代表して正副議長、委員長そして私が議会運営委員会副委員長として視察団を案内しました。視察内容は、対面式議場と議会インターネット中継、そして委員会の一般公開です。流

## 議会決議による意見書のあり方について

多くの地方議会では、意見書として国（政府）や県（知事）等の上部団体に対して意見書を提出しています。まず、議会に提出され議論の後、採決を行い、正式に提出するかを決定するものです。多くの意見書は国政に関わるものが多く、政党間の政争の具としての使われ方ではと、懸念されるものが大多数です。意見書が市議会で可決されても、各省庁に山積みされるだけで、実行が約束されるわけではありません。私たちの会派では、政党に所属する4名の議員と無所属の2名が、政策協定を結び会派を構成しています。市議会の論議の場に、国政、特に外交や国防に関わる問題をいわずらに持ち込むことは、「市議会」という役割を考えると最小限にするべきです。あくまで市議会では、流山市民にとって何が良いのかを積極的に議論していく場と考え、多くの意見書には、提出に反対の立場をとっています。ただ、市民にとって影響が強く、ぜひとも取り入れるべき内容であれば、全員で議論を重ねて積極的に賛成しています。

山市の議会も、年々様々な改革が進んでいます。現時点でも、議会運営委員会が中心になり、議会改革案を積極的に議論協議していますが、さらなる改革のために新しい取り組みを続けていきたいと考えています。市民の皆様も、ご意見をお寄せください。

## 藤井としゆき通信版

平成19年10月10日 発行  
発行責任者 民主・市民クラブ  
(議会内第2会派) 代表 藤井俊行  
流山市平和台 1-1-1 TEL. 7150-6099 (議会事務局直通)  
流山市西初石 1-776-36 TEL. 7152-3000 (自宅事務所)  
HP : <http://www.fujii-toshiyuki.com/>  
メール : [go@fujii-toshiyuki.com](mailto:go@fujii-toshiyuki.com)



## 小中学校の耐震工事、市民サービスを向上させた井崎市政。更なる行革と市民サービス向上を要望しました。

流山市議会第3回定例会（9月議会）は平成19年8月30日～9月27日までの29日間おこなわれ、平成18年度の決算認定を含む、当初予定26議案、最終日に1議案が追加され、27議案の審議を行いました。  
一般会計補正予算の議案は、補正額13億4千81万9千円を補正して、総額367億3千81万9千円とします。

### 《決算審査》

平成18年度の事業についての決算認定を行いました。私たちの会派からは、2名が委員として参加し、18年度の事業の正当性や効果等、細かな部分から大局的な項目まで、多岐に渡り質疑を行い、子育て支援策の充実や小・中学校の耐震工事を積極的に実行したこと、行財政改革を進めながら市民サービスの向上を図ってきた井崎市政に対し大いに評価し、更なる財政改革と市民サービス向上を要望し、認定しました。

## 隣接した自治体と連携して市民サービス充実を

松戸市や柏市と隣接している市堺では、公共下水道や道路整備等、様々な問題が発生しています。去る10月3日に、柏市議会議員と初会合を持ち、意見交換を行いました。今後は、高城早苗柏市議会議員と定期的な会合を持ち、市堺の諸問題解決に努めていきます。



# 生活者の視点で身近な問題について積極的に質問しました

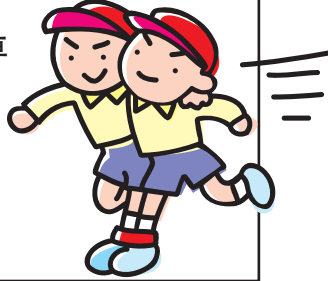
今定例会では、28名の議員中、17名の議員が登壇して、市政に関わる一般質問を行いました。藤井としゆきは、平成15年初当選以来、毎議会において、生活者の視点で積極的に、一般質問を行い、市民の疑問や要望実現のため全力で取り組んできました。今回の質問の要旨は以下です。(議会録画中継もあります)

<http://www.discussvision.net/nagareyamas/2.html>

## 1 市有バス減少の不便を補う制度づくりを

**質問** 本市保有のバスが、排ガス規制で年々廃止となっている。近隣他市で受けられるサービスが本市では無くなっている。格差解消のためにも、市民活動を行う自治会等の団体に対して、新たな補助事業を行うべきではないか

**答弁** 市有バス廃止は、公用車行政改革の中で見直してきた。新車を導入した場合、41人乗りで2千万円。大型バスで三千万円。人件費として千二百万円、大型で千九百万円かかり、近隣各市では、バスの貸し出しは行っているが、金額の補助は、実施していない。流山市としても補助制度は難しい。



## 2 生涯学習施設の老朽化対策について

**質問** 生涯学習施設(公民館・図書館等)の経年劣化の現状と改修計画、変更には、蔵書の充実計画や公民館の備品や調理実習室の食器等の充実を訴えました。そして、財政が厳しいのであれば、モニター的に民間企業の広告掲載を認め企業からの寄付で、施設充実が図れるのではと提案も行いました。

**答弁** 昭和44年に建設された文化会館をはじめ、公民館、体育館、グラウンド、プール、図書館等が生涯学習施設であり、利用者等からも不備な点や劣化の状況も聞き、把握している。危険度の高い耐震工事を優先的にやり、冷暖房の交換も行っています。トイレの改修も計画に沿って行います。備品等も危険度を考慮し、時代に合わなくなったものの更新等、行っていきます。調理室は、来年度から中央、北部、東部とリニューアルしていきます。企業との提携では、民間活力を使うことは重要ですが、1企業だけというのは難しく考え、新たな情報があれば、提案して下さい。

## 3 初石東口開設計画はすすんでいるのか

**質問** 東武初石駅東口開設については、流山市の計画にどの様に位置づけているのか。また、東武鉄道(株)に対してどのような働きかけを行ってきたのか。

**答弁** 東口開設は、利用者の利便性向上のためにも必要と考えているが、柏市との協議、東武鉄道との合意にも至っていない。更に地権者とも合意されていないので難しい。国会議員を介して要望書の提出や社長に対しても提出してきている。副市長も運河駅の東口開設と合わせ、臨時的な改札を求めたが、橋上化の協議には乗るが、臨時改札の開設には乗れない。バリアフリー化は、保線橋にエレベータ設置等、何とか進めて行きたい。



## 4 高齢者の働く場の確保について

**質問** 高齢化が加速している中で、高齢者の雇用場所の確保をどの様に考えているのか。市で働く場の確保の仕掛けが必要ではないか。

**答弁** 高齢者自身、自らが働く意欲のある方には、積極的に支援しており、相談事業も行っている。議員提案のご近所高齢者による、高齢者や障害者宅のゴミ出し支援事業は、今後の研究事案としたい。

## 5 続発する建築紛争防止のため、まちづくり条例を

**質問** 井崎市長は都市計画や街づくりのプロとして、建築紛争防止策をどの様に考えているのか。また、市独自の『まちづくり条例』を作成するべきではないか。

**答弁** 具体策として地区計画や建築協定が考えられる。また、藤井議員提案の先進市の条例でも、法的な決定打とはなり得ない。現行法を活用して、住民の方にも、納得していただけるように努力していく。